

屋久島生態系モニタリング

屋久島北部植生垂直分布調査 (平成17年度調査)

・宮之浦岳北側斜面(標高580m地点)

プロットは、シアマ谷上流沢沿いの広葉樹二次林に設定した。局所地形は、複合斜面で、平均傾斜が22°、プロットを横断して流れる沢の流下方位が、北北西方向である。

プロットの階層別植生は、高木層ではホリハク・エゴノキ・イヌノキ・ハリハリノキが多く、ヤマニッケイ・イガシ・ヤクシマオナガエテが混生する。個体数は少ないが、ヤマザクラ・ヒメシャラ・ヤマツバキ・サザンカなども生育する。

亜高木層では、ホリハクが多く、イヌノキ・ハリハリノキ・イガシ・サカキ・サクラツツジなどが混生する。樹高4~5メートルのサクラツツジが多い。

低木層では、サザンカ・ヒサカキ・サカキ・シキミが生育し、個体数は少ないが、ツゲモチ・イガヤ・タミンチハナも出現する。

草本層では、植被率は低いが、サザンカ・ヒサカキやイガシの稚樹、ヒメバ・アリドウシ・ヤクナワレが生育する。

世界屋久島では、平成5年、平成17年、平成19年の調査があり、その結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

整備計画策定のための現地調査を開始

屋久島森林生態系保護地整備域



歩道周辺でつづく登山客

普一〇月九日から、そうし文杉

この調査は、屋久島森林生態系保護地整備計画の一環として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

屋久島世界遺産地域連絡会議幹事会開催

この会議は、屋久島世界遺産地域連絡会議の幹事会として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。



会議の風景

この調査は、屋久島森林生態系保護地整備計画の一環として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

屋久島は調査研究の重要なフィールド

この調査は、屋久島森林生態系保護地整備計画の一環として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

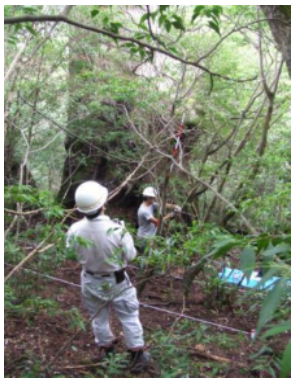
屋久島の植物



ヤマヒヨドリ (ぎく科)



土壌及び根茎調査の様子



植生調査の様子

この調査は、屋久島森林生態系保護地整備計画の一環として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

この調査は、屋久島森林生態系保護地整備計画の一環として、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。調査は、平成17年度調査の結果を踏まえ、本年度調査を実施する。調査は、宮之浦岳北側斜面の二次林にプロットを設定し、高木層、亜高木層、低木層、草本層の4層別で植生調査を行う。

屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査等の入林状況

1 動物関係

(平成20年4月1日から平成20年10月31日受付分)

入林目的	入林箇所	所属
ニホンザルの毛づくろい前の音声コミュニケーションの調査	1~4	神戸学院大学大学院人間文化学研究所
樹木毎木調査・ヤクシカ密度推定	1~2・22・51~54・62・63・70・80~83・93・100・204・205・221・228・252・269・270	京都大学生態学研究センター
ヤクシマザルの行動生態学的調査	1~4	京都大学霊長類研究所
西部林道周辺に生息するヤクシマザルの行動学的調査	1~4	京都大学霊長類研究所
ヤクシマザルの低順位個体における菜食戦略の解明	2	京都大学大学院理学研究科
シカのライトセンサスによる密度調査	204・205(小瀬田林道)	北海道大学 屋久島生物部
西部林道周辺のヤクシマザルおよびヤクシカの頭数調査	1~4	京都大学 野生動物研究センター
ニホンザルの調査	6~10・12(大川林道)	京都大学霊長類研究所 他
ハジツトカラスの分布及び生息密度の調査	大川林道	東京大学総合研究博物館
ヤクシマザルの個体追跡法取得のための予備調査	1~4	京都大学 理学研究科生物科学専攻
ヤモリの分布調査	1~4	京都大学大学院理学研究科
ヤクシマザルの野外調査	1~3	京都大学 霊長類研究所他
西部林道周辺のヤクシマザルの行動学的調査	1~4	京都大学 霊長類研究所
屋久島上層部域におけるニホンザル生態調査	9・10・11	京都大学 農学部
ヤクシマザルの遺伝子研究	永田・尾之間・安房・宮之浦歩道周辺	琉球大学 大学教育センター
鹿児島県委託 平成20年度自然環境保全基礎調査事業委託	西部林道外(詳細は別表にて)	財団法人 鹿児島県環境技術協会

2 植物関係

入林目的	入林箇所	所属
屋久島の世界遺産地域における生態系の動態把握と保全管理手法に関する調査の為に植生及び動物調査の為に	島内一円	東京大学大学院新領域創成科学研究科
ヤクシマザル調査	2~4・6・10・47・48・66	屋久島・ヤクシマザル調査隊
ツツ科植物の共生菌と着生性の進化に関する調査研究	86	国立科学博物館 植物研究部
屋久島における植物の特殊化について、その形態上の特徴と、その遺伝的背景の解析を行うため。	65(65はを除く)・211・216・217・249・250・255	東京大学大学院理学系研究科
ヤマモモの種子散布様式の解明	2	広島大学国際協力研究科・日本鳥類標識協会
屋久島および種子島における絶滅危惧種ヤクシマザルの遺伝的多様性保全に関する研究	2~5・10・11・47~49・66・1105~1110・1114・1115・1117	(独)森林総合研究所 生態遺伝研究室
ヤクシカ樹冠調査	86	琉球大学 農学部
きのこ類の発生調査及び採取調査	淀川登山道~淀川小屋手前荒川登山道~大株歩道入口・白谷雲水峡・ヤクシカランド	鳥取大学農学部付属菌類きのこ遺伝資源研究センター
研究調査(植生調査)	2~4(西部林道)	鹿児島大学
ヤクシカ天然林の群集動態の解析(年輪コアサンプル採取)	86(小花山、天文の森)・214(白谷試験地)	九州大学森林計画学研究室
屋久島固有の高山性矮小植物の遺伝的多様性及び適応形質に関する研究のため	永田・大株・尾之間・湯泊・太忠岳外3歩道・大川外2林道	京都大学大学院理学研究科
植物の共生菌を明らかにし、生物多様性保全の指針とする	54	国立科学博物館 筑波研究資料センター
ヤクシカによる植物への食痕状況調査、防鹿柵内外の植生調査、防鹿柵の維持・管理	75・76・78・80・90・100・101	九州大学大学院理学研究院生物科学専攻
植生調査	16・20・21・24	鹿児島大学 理学部
永田岳周辺のヤクシカランド、ヤクシカウスユキソウ分布調査	永田岳周辺	屋久島丸ごと保全協会

3 その他

入林目的	入林箇所	所属
ツノカガ類に穿入するキクイムシ類の調査	1~4・204~205	森林総合研究所 関西支所 生物被害研究グループ
渓流水質調査	宮之浦林道外2	摂南大学 工学部
昆虫相調査	黒味岳周辺・花之江河周辺	神奈川県立生命の星 地球博物館
昆虫類の調査(主にゾウムシ類)	15・49・54・81・216・217・249~252	産業技術総合研究所
屋久島世界遺産地域における生態系の把握と保全管理手法に関する調査(環境省に伴う昆虫類の調査)	花山歩道周辺(13・14・15)	鹿児島大学農学部害虫学研究室
酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査	3・9	鹿児島県農業開発総合センター
ヤマキダラバケの生態調査及び他昆虫資料の収集	11・12・14・87・100・101・209・258	鹿児島県立博物館
水質調査	島内一円の河川(尾之間方面)	和歌山大学
ヤブツバキ果実のゾウムシによる食害の調査	54・61~63・81・270・272	産業技術総合研究所 生物機能工学研究部門
京都大学大学院理学研究科学生実習(ニホンザル・キノコ・植物昆虫の調査)	1~3・9・49・50・54・62・80・85・213~215	京都大学大学院理学研究科